

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1032.50	2021/8/16
High	1032.60	2021/8/17
Low	963.00	2021/8/19
Close	997.00	2021/8/20

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3635.00	2021/8/16
High	3636.00	2021/8/16
Low	3398.00	2021/8/19
Close	3522.00	2021/8/20

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2647.00	2021/8/16
High	2654.00	2021/8/16
Low	2271.00	2021/8/20
Close	2276.00	2021/8/20

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9316.00	2021/8/16
High	9350.00	2021/8/16
Low	8010.00	2021/8/20
Close	8023.00	2021/8/20



ニュースエクスプレス

英政府、水素戦略に着手

イギリス政府は今後十数年間で、炭素排出量が少ない水素セクターを作るための「水素戦略」に着手した。

この水素戦略をもって、グリーン産業革命を推し進めるためにイギリス首相が発表した「10 Point Plan」を促進し、政府と産業セクターが協力して2030年までに低炭素の水素製造能力を5GWに拡大する基盤を築く計画だ。

計画では年間で国内の300万家庭と輸送産業、重工業産業へ天然ガスに代わって水素を提供する。

同戦略によると、2030年までにイギリス全土の水素経済は9億ポンド規模、9000人以上の非単純労働雇用を生み出すとし、さらに2050年までには雇用は10万人以上、経済規模は130億ポンドになるとしている。これは公害を撒き散らし大量のエネルギーを消費する化学工場、製油所、発電所や、船舶・重量物運搬トラック・列車などの大型貨物輸送産業で、このクリーンエネルギー源が、計画通りの役割を果たして、化石燃料への依存から脱却を可能にし、脱炭素化を実現することが前提だ。

<https://www.icis.com/explore/resources/news/2021/08/17/10675071/uk-government-launches-hydrogen-strategy>

商品相場の値下がり加速 - 成長懸念や米テーパリング巡る観測で

商品相場は19日に下落し、週間ベースでは2カ月ぶりの大幅な下げに向かっている。経済成長と共に原材料需要の回復が鈍化すると観測が広がり、金属、穀物、原油が値下がりした。

銅は4月以来の安値に下落し、このまま推移すれば今週はここ2カ月で最大の値下がりとなる。ブルームバーグ商品スポット指数はこのままだけに週間で6月以来の大幅下落。成長懸念を受けブルームバーグ・ドル・スポット指数が昨年11月以来の高値に上昇し、米国外の投資家にとって商品の魅力が低下した。

金属市場は特に、最大の消費国である中国の成長を巡る継続的な懸念や、米金融当局が過去1年間の相場押し上げに寄与した大規模な刺激策を早期に縮小すると警戒感に圧迫されている。新型コロナウイルスのデルタ変異株の急速な感染拡大で投資家の不安はさらに高まっているほか、最近の予想より弱い米中の経済指標は世界経済の回復が停滞しつつあることを示唆している。

ロンドン金属取引所（LME）の銅相場は一時3.5%下落した後、前日比1.6%安の1トン＝8894ドルで終了。今週に入ってからは7.1%値下がりし、このままなら週間ベースで6月以来の大幅安。5月には1万700ドル強の過去最高値を付けていた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e00e57ab2e5bb5e186e49fad88abc60b7a005fd2>

「トヨタ・ショック」でプラチナ価格が急落、コロナ感染拡大の余波

トヨタ自動車は8月19日、9月の世界自動車生産を計画の90万台弱から50万台強に引き下げた。世界的な半導体不足の影響は限定的だったが、自動車部品工場が集中する東南アジアで新型コロナウイルスの感染が拡大する中、部品調達に停滞しているため国内外の工場が稼働縮小を迫られている。

業績が好調だったトヨタ自動車の大規模減産が報じられると、同日の同社株価は前日比4.4%安と急落し、他の自動車メーカーや部品メーカーも連想売りで大きく下押しされる展開になった。日経平均株価も304.74円安の2万7,281.17円まで下落している。一種の「トヨタ・ショック」が発生した格好になる。

一方、これと同様に大きなダメージを受けたのが、プラチナ（白金）とパラジウムだ。指標となるNYプラチナ先物相場は1オンス当たりで前日比25.20ドル安の971.20ドル、パラジウム先物相場は同125.40ドル安の2,297.90ドルとともに急落している。プラチナやパラジウムは自動車の排ガスから有害物質を除去するための触媒用貴金属として使用されているが、トヨタ自動車の大規模減産によって、触媒用貴金属需要の落ち込みも同時に警戒されたためだ。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kosugetsutomu/20210820-00254146>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 最近になって、人気のある「トゥールースシリーズ」に「Roaring Lion」と「Tree of Life」がリリースされた2種類のプラチナ1オンスブルーフコインが加えられた。トゥールースシリーズは、投資とコイン収集家向けのゴールド、シルバー、プラチナ、パラジウムを扱うオンライン大手のSD Bullionが一手に小売りを手がけている。詳しくはプラチナ豆知識「プラチナトゥールースシリーズ」（2021年8月18日）をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2021/08/18>



(@wpicjapan)